

施設種別の主な検討課題の整理

視点	データから読み取れる内容	主な検討課題
施設の状況	<p><老朽化率（最も高いもの）></p> <p>①：100%～</p> <p>②：80%～99%</p> <p>③：～60%</p>	<p>①かつAに該当 ⇒老朽化が著しい施設がある。</p> <p>②かつBに該当 ⇒老朽化が進んでいる施設がある。</p>
	<p><残存耐用年数（最も長いもの）></p> <p>A：0（マイナス）</p> <p>B：1～10年</p> <p>C：20年～</p>	<p>③かつCに該当 ⇒比較的、新しい施設がある。</p> <p>※①②またはABに該当しても、大規模改修が実施されている場合 ⇒一定の保全が図られている。</p>
	<p><耐震性></p> <p>指定避難所かつ耐震性が無いものが存在</p>	指定避難所であるが、現行の耐震基準を満たしていない施設がある。
	<p><その他></p> <p>①：残存耐用年数が5年間に3以上の施設が存在</p> <p>②：設置目的が類似、機能面で相互利用が可能なもの</p> <p>③特記事項</p>	<p>①更新時期が重なる施設がある。</p> <p>②重複施設がある。 相互利用が可能である。</p> <p>③特記事項内容</p>
利用の状況	<p><施設全体、構成諸施設ごと></p> <p>①増加、減少の傾向が5年間で2割以上の施設が存在</p> <p>②増加、減少、維持の傾向が異なる施設が存在（フロー）</p> <p>③利用者数に3倍以上の差が存在（H24時点）</p> <p>④特記事項</p>	<p>①利用者数が大きく増加（減少）している施設がある。</p> <p>②利用者数の推移動向に違いが見られる。</p> <p>③利用者数が比較的高位で推移しているところと低いところの差が見られる。</p> <p>④特記事項内容</p>
コストの状況	<p>①収入が有るものと無いもの、収入に3倍以上の差が存在</p> <p>②利用者1人当たり市費に2倍以上の差が存在</p> <p>③市民1人当たり市費に2倍以上の差が存在</p> <p>④延床面積2,000㎡以上の施設が存在</p> <p>⑤「施設の状況」で、「老朽化が著しい」又は「老朽化が進んでいる」とした施設が存在</p>	<p>①受益者負担の公平性が図られていない施設がある。</p> <p>②利用者1人当たりの市費が割高になっている施設がある。</p> <p>③市民1人当たりの市費が割高になっている施設がある。</p> <p>④大規模施設だけに、今後、相当の保全整備費が必要となる。</p> <p>⑤更新（改修・改築）時期を見据えた効率的な維持管理が必要である。</p>